

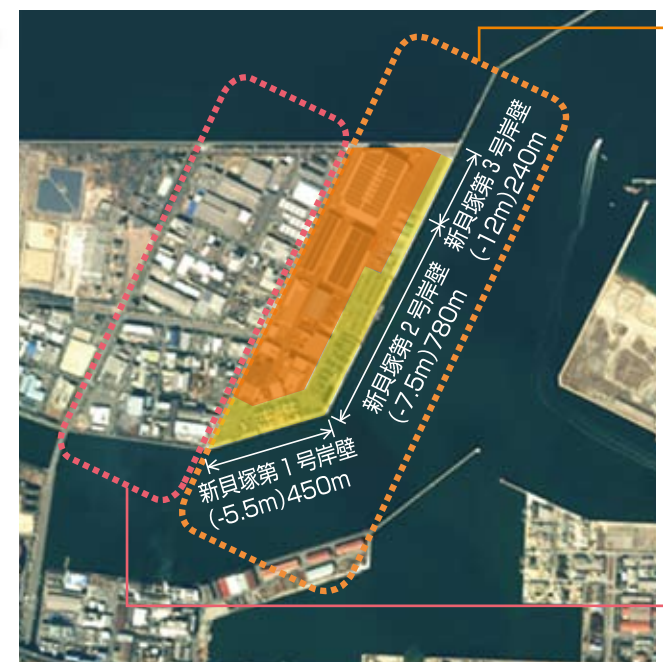


地域の活力、憩い、安心を生み出す阪南港

3つの港が統合、重要港湾としての50年 阪南港

地域の活力

1 阪南4区



○新貝塚埠頭
昭和53年に二色の浜の保全と大阪湾の水質汚濁防止、貝塚市地域の都市環境の整備などを目的に、二色の浜環境整備事業の工事が始まりました。中でも、新貝塚埠頭は京南地区の物流の玄関口とするため整備され、岸壁・荷さばき地及び倉庫、流通加工施設、配送センターなどが立地しています。
3号岸壁は、阪南港の中核的な外貿埠頭として、水深-12m岸壁を供用しています。

○二色浜産業団地
貝塚市内の製造業等の移転用地として整備されました。現在は、全ての区画の分譲が終了し、製造業等約100社が操業しています。

2 貝塚旧港地区(阪南3区)

阪南港では木材港地区に次いで供用を開始した地区で、砂利・砂、非金属鉱物等を取り扱っています。水深-6.5mの岸壁が整備されています。

3 地蔵浜地区(阪南1区)

阪南港の内貿公共埠頭として計画されたこの地区は、主に砂利・砂、鉄鋼等を取り扱っており、水深-4.5mの岸壁が整備されています。
また、阪神高速の出入り口に近いという交通アクセスの良さから、倉庫などの物流施設用地としても利用されています。また、漁港機能が移転し、漁業資源を活かした賑わいづくりが進められています。

4 岸和田旧港再開発地区



由緒ある歴史に育まれた岸和田旧港では、施設の老朽化等により、港を埋立て、周辺地域を含めた約19.5haについて再開発を行うことを昭和60年に決定し、商業施設や住宅、文化施設、緑地、親水空間など総合的な街づくりが進められました。平成9年3月に開業した岸和田カンカンをはじめ、岸和田市立浪切ホールなどのにぎわいに資する施設が立地しています。



5 ちきりアイランド(阪南2区)



ちきりアイランドは、地域の振興や、人や環境にやさしい魅力ある都市づくりを目指しています。

○製造業用地(計画:26ha)
地域産業の活性化等を目的として、平成17年から竣功した製造業用地への企業誘致を進め、全ての用地に企業の進出(19社)が決定しました。

○保管施設用地(計画:34.1ha)
隣接する埠頭用地の利用により必要となる物流施設・倉庫等の保管施設を整備するための用地とし、平成25年以降、順次企業が進出しています。

○埠頭用地(計画:15.8ha)
貨物の荷さばき・保管のために必要となるエプロン、荷さばき地等の用地として計画しています。

○供給処理施設用地(計画:13ha)
平成19年4月から最新の環境対策設備を備えた清掃工場(岸和田市貝塚市クリーンセンター)が稼働しています。

○岸壁
府営港湾の物流機能強化を目指して水深-12mの外貿岸壁、-7.5mの岸壁を各3バース整備予定です。岸壁の一部は、災害時の背後圏への緊急物資等を輸送する拠点とするため、耐震強化を行うこととしています。

○親水緑地
砂浜と磯場を整備し、水に親む環境を作ります。周辺の住民が気軽に水に触れあえる環境、多様な生物が生息できる環境を形成します。

○人工干潟
埋立地の整備や高潮対策等により失われた親水機能を回復するため、野鳥や水生生物が生息する干潟の再生を目指しています。その他、プレジャーボートの保管を行うマリナ等を計画しています。

6 木材港地区

高度経済成長期の急速な住宅需要に伴う輸入木材の増加に対処して、昭和41年に竣功・供用されて以来、府内有数の木材産業基地として大きな役割を果たしています。
平成8年には、木材需要及び荷役形態の変化に伴い、水深-12メートル岸壁等の公共埠頭や港湾関連用地を新たに整備しています。輸入原木や木材チップを満載した外航船が接岸し、荷降ろしが行われています。

7 大阪鉄工金属団地

大阪鉄工金属団地は昭和41年に埋立が完成し、現在は金属製品・機械製品の工場を中心にたくさんの企業が操業しています。周辺には保管施設なども整備されており、鉄鋼や石油を運搬する貨物船やタンカーが入港しています。

憩い

○体験航海行事
市民への海事思想の普及と啓発並びに港湾の振興を図ることを目的として、海上保安庁の協力のもと毎年8月に岸和田港振興協会及び貝塚港振興会の手で実施されています。一般公募した市民が海上保安庁の巡視船に乗り、関西空港周辺までの航海を体験します。

○地蔵浜みなとマルシェ
岸和田市の地蔵浜において、毎週日曜日に開催されます。大阪湾の漁業、大阪産(もん)の認知度の向上や、地産地消での魚食推進及び交流、地域の活性化などを目的とし、近隣地域の各漁協が提供する鮮魚、加工品などの魚介製品をはじめ、たこ焼き、回転焼、かしみん焼なども販売されています。

○忠岡みなとマーケット
忠岡港で開かれる「忠岡みなとマーケット」では、新鮮な魚や忠岡名物のしらすをはじめとした物販のほか、釜揚げシラス丼の試食などが催されています。

安心

阪南港における津波・高潮対策事業として、防潮堤や水門の整備などが進められています。

○南水門・北水門
木材コンビナート貯木場の南北に1箇所ずつある出入り口にはそれぞれ、南水門、北水門が整備され、高潮発生時には閉鎖することで貯木場から陸地への高潮被害を防衛しています。南水門とも改良工事が実施され、南水門は平成24年7月に完成し、北水門は平成30年度末に完成する予定です。

○岸和田水門
岸和田水門は新しい防潮ラインの要として、昭和63年に完成しました。通常時は旧港内に入り出す船舶の航路となっていますが、津波や高潮の際には扉を海中に降ろして航路からの海水の流入を防ぎ、小型船舶の避難泊地として利用されています。

